

第9回日野市指定管理者候補者選定委員会議事要点録

日時	平成23年10月25日（火）午後1時00分～午後3時40分
場所	市役所4階 庁議室
出席者	坪島委員長、岡村委員、菊池委員、鈴木委員 荻原企画部長（副委員長）、栗原総務部長、大坪まちづくり部長、川久保健康福祉部長、福島建設担当参事、村田芸術文化担当参事
議題	1. 本日の流れ説明 2. 審議報告書（案）の確認 （1）審議報告書（案）の全般（まとめ） （2）各施設の選定結果、決定及び審議報告書内容確認について 3. その他
議題1	●本日の流れ説明 企画調整課長より説明 ・審議報告書（案）に沿って、まとめを行う。 ・全般に関わる部分と施設ごとに候補者の決定と意見要望等の確認を行う。
議題2	●審議報告書（案）の確認 企画調整課長より説明 （1）審議報告書（案）の全般（まとめ） ・審議報告書（案）の構成は、全般として選定までの経過、候補者の募集、応募状況、委員会の設置及び開催経過、選定基準、選定方法、選定の結果、審議全体の総括、選定委員名簿とし、各施設については、選定ポイント（採点表における重点項目）、応募団体名、採点表、選定結果、指定期間、選定理由、協定締結にあたっての要望事項とした。 ・各施設の選定に関わる意見は内容を委員会としての総意意見、要望をまとめている。 （2）各施設の選定結果、決定及び審議報告書の内容確認について 選定結果の前に ・10月18日行われた市民プールの採点表の審査項目「事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的な能力を有しているか。」の内容「③防災・防犯及び非常災害時等の危機管理対応策は適切であるか。」の配点が日野市立グラウンドの採点表と比較して③が安全面から低いのではないかとこの質問について、日野市民プール担当である村田芸術文化担当参事より補足説明を行った。

(説明) 日野市民プールの採点表の審査項目「事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的な能力を有しているか。」の内容「③防災・防犯及び非常災害時等の危機管理対応策は適切であるか。」はゲリラ豪雨、台風、地震事な緊急時対応の評価をしていただきたいと考えていた。同じ審査項目の内容「①安定したサービスを提供するための職員体制、職員研修が実施できるか。」は職員の配置、職員の資格、研修、専門的知識等であり、具体的には監視員（アルバイト）の配置や研修が適切に行われていることによって、安全面に繋がると考え内容③より①の配点を増やした。

●日野市民プールについて

企画調整課長より審議報告書（案）に沿って説明

(1) 選定のポイント（採点表における重点項目）

・ 公の施設の効用を最大限に発揮することについて

①施設の利用率を向上させるための具体的な提案がなされているか。

・ 事業計画に沿った管理を安定して行う能力について

①安定したサービスを提供するための職員体制、職員研修体制が提案されているか。

②同種の施設管理運営実績があるか。

（プール運営、駒形の渡し場運営という、特に人命に直接関わる業務であることを踏まえ）

(2) 応募団体名

・ ニッセイファシリティ株式会社

・ 日野市社会教育センター（辞退）

・ シンコースポーツ株式会社

(3) 採点表

・ 7名の選定委員の得点の合計点を選定委員会全体の得点とした。

・ シンコースポーツ株式会社の得点 966点で得点率92%

・ B社の得点 670点で得点率64%

評価点基準（60%）を満たしている2社のうち、シンコースポーツ株式会社（得点率92%）の得点が上位である。

(4) 選定結果

・ シンコースポーツ 株式会社

(5) 指定期間

・ 平成24年4月1日から平成29年3月31日 まで

(6) 選定理由

- ・評価点基準を満たしているため。また、評価点を満たす2社の内、審査結果が上位であるため。
- ・本施設における十分な経験があり、事業計画書等から安定したサービスを提供するための職員体制、職員研修が実施できている。また、地域との連携の提案があり、熱意・意欲、積極性が感じられることから、公の施設としてサービスの提供が可能であると判断し、上記候補者を選定した。

(7) 協定締結にあたっての要望事項

- ・外部に委託している施設維持管理業務については、業者と十分な連携対応をしていただきたい。
- ・施設の利用目標を実現するため、多様なサービスプログラムの企画を実行していただきたい。
- ・プール閉鎖期間の施設利用について地域と連携した取り組みをしていただきたい。

(委員長) 指定管理者候補者にシンコースポーツ株式会社にする事でよろしいでしょうか。

(委員) 異議なし

=意見=

(委員) (7) 協定締結にあたっての要望事項に災害時の危機管理の対応を徹底させるべきなので、記載していただきたい。

(委員) この危機管理については重要なので、要望事項の順番の上位に記載していただきたい。

●結果

(7) 協定締結にあたっての要望事項

- ・外部に委託している施設維持管理業務については、業者と十分な連携対応をしていただきたい。
- ・非常災害時の危機管理対応に対応できる体制を徹底していただきたい。
- ・施設の利用目標を実現するため、多様なサービスプログラムの企画を実行していただきたい。
- ・プール閉鎖期間の施設利用について地域と連携した取り組みをしていただきたい。

(以下各施設同様なため審議内容を省略し、結果のみ記載することとする)

●日野市立グラウンド等（全14施設）について

(1) 選定のポイント（採点表における重点項目）

・管理に要する経費の削減を図ることについて

①事務効率、経費削減等の工夫がされているか。

・事業計画に沿った管理を安定して行う能力について

①安定したサービスを提供するための職員体制、職員研修が実施できるか。

(2) 応募団体名

・シンコースポーツ株式会社

・株式会社 フクシ・エンタープライズ

・株式会社 日野市企業公社

・有限会社 あずみ工房

(3) 採点表

審査の結果、評価点基準（60%）を満たしている3社のうち、株式会社 フクシ・エンタープライズ（得点率78%）の得点が上位であるため、指定管理者候補者として選定することになった。

(4) 選定結果

・株式会社 フクシ・エンタープライズ

(5) 指定期間

・平成24年4月1日から平成29年3月31日 まで

(6) 選定理由

・評価点基準を満たしているため。また、評価点を満たす3社の内、審査結果が上位であるため。

・本施設における経費削減等の工夫がなされている、また管理運営について、熱意・意欲、積極性が感じられることから、公の施設としてのサービスの提供が可能であると判断し、上記候補者を選定した。

(7) 協定締結にあたっての要望事項

・現指定管理者と新指定管理者は現場情報を十分引継いでいただきたい。

これまで実施されていた業務の水準を低下させることのない様に市民サービスの向上に努めていただきたい。現指定管理者は、きめ細かく現場のトラブルへの対応をされていることを認識していただきたい。

・大震災により起因する河川の増水対策についても準備していただきたい。

・運動施設管理の専門業者であり、自主事業や専門性を活かした施設運営を実施

していただきたい。

- ・地域、スポーツ諸団体との緊密な関係を確立していただきたい。

●日野市立とよだ市民ギャラリーについて

(1) 選定のポイント（採点表における重点項目）

- ・市民の平等な利用及びサービスの向上について

①サービス向上のための方策があるか。

②市民の芸術の創造と普及の場として、市民文化の向上を図るための提案がされているか。

- ・公の施設の効用を最大限に発揮することについて

①施設の利用率を向上させるための具体的な提案がなされているか。

(2) 応募団体名

- ・株式会社 日野市企業公社

(3) 採点表

審査の結果、評価点基準（60%）を満す、株式会社 日野市企業公社（得点率67%）を指定管理者候補者として選定することになった。

(4) 選定結果

- ・株式会社 日野市企業公社

(5) 指定期間

- ・平成24年4月1日から平成29年3月31日 まで

(6) 選定理由

- ・判断の目安である得点が評価点基準を満たしているため。

- ・本施設における市民の平等な利用、利用率向上及び利用者に対するサービスの向上のための方策があることから、公の施設としてのサービスの提供が可能であると判断し、上記候補者を選定した。

(7) 協定締結にあたっての要望事項

- ・施設の美化や出入口のバリアフリー化等の改善については、市が管理組合と調整をしていただきたい。

- ・文化施設であるため、清潔に保つよう日常管理を徹底していただきたい。

●日野市民会館、七生公会堂、七生福祉センターについて

(1) 選定のポイント（採点表における重点項目）

- ・市民の平等な利用及びサービスの向上について

①利用者の意見を反映する仕組みがあるか。

②施設の特性を生かしたサービスが提案されているか。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公の施設の効用を最大限に発揮することについて ①施設の目的を、効果的かつ効率的に達成できるものになっているか。 (2) 応募団体名 <ul style="list-style-type: none"> ・ 株式会社 日野市企業公社 (3) 採点表 <p>審査の結果、評価点基準（60%）を満す、株式会社 日野市企業公社（得点率70%）を指定管理者候補者として選定することになった。</p> (4) 選定結果 <ul style="list-style-type: none"> ・ 株式会社 日野市企業公社 (5) 指定期間 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成24年4月1日から平成27年3月31日 まで (6) 選定理由 <ul style="list-style-type: none"> ・ 判断の目安である得点が評価点基準を満たしているため。 ・ 市と連携した事業展開を必要とする本施設の管理運営について、十分な経験があり、施設の特性を活かし安定した公共のサービスの提供が可能であると判断し、上記候補者を選定した。 (7) 協定締結にあたっての要望事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者提案の自主事業を積極的に行っていただきたい。 ・ 指定管理者候補者は市の指定管理者として、多数の施設を担当しているので、市民会館、七生公会堂のポスターやチラシの配布、掲示について両施設の広報宣伝を強化していただきたい。 ・ 市民会館については、ホール以外（展示室、和室、練習室）についても、施設の特性を活かし、利用率向上のため、市民に周知していただきたい。 ・ 七生福祉センターの設置目的を考慮し、高齢者向けの自主事業も企画し、利用率向上に努めていただきたい。 ・ 各施設とも経費節減のため節電対策を行っていただきたい。 <p>●日野市立中央福祉センター、日野市立湯沢福祉センターについて</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 選定のポイント（採点表における重点項目） <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の平等な利用及びサービスの向上について ①高齢者、障害者などに対する案内、サービスの工夫がなされているか。 ・ 管理に要する経費の削減を図ることについて ①事務効率、経費削減等の工夫がされているか。 (2) 応募団体名 <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉法人 日野市社会福祉協議会
--	---

(3) 採点表

審査の結果、評価点基準（60％）を満す、社会福祉法人 日野市社会福祉協議会（得点率70％）を指定管理者候補者として選定することになった。

(4) 選定結果

- ・社会福祉法人 日野市社会福祉協議会

(5) 指定期間

- ・平成24年4月1日から平成29年3月31日 まで

(6) 選定理由

- ・判断の目安である得点が評価点基準を満たしているため。
- ・高齢者、障害者に対する案内、サービスの工夫がなされていること、利用者との苦情等トラブル未然防止策及び対応策について、マニュアルの整備、研修されていることを評価した。
- ・本施設について十分な経験があることから公の施設としての安定したサービスの提供が可能であると判断し、上記候補者を選定した。

(7) 協定締結にあたっての要望事項

- ・年々利用者数が減少しているため、施設利用者数を増やす取り組みをしていただきたい。
- ・施設の老朽化、高齢者の利用が多いため、安全面に配慮し、特に夜間など緊急時の対応と人員体制等を整えて施設運営をしていただきたい。

●日野市立つばさについて

(1) 選定のポイント（採点表における重点項目）

- ・市民の平等な利用及びサービスの向上について
 - ①地域、関係機関、ボランティア等との連携が図られているか。
 - ・公の施設の効用を最大限に発揮することについて
 - ①利用者の増加及び利用率の向上が図られているか。

(2) 応募団体名

- ・社会福祉法人 日野市福祉事業団

(3) 採点表

審査の結果、評価点基準（60％）を満す、社会福祉法人 日野市福祉事業団（得点率69％）を指定管理者候補者として選定することになった。

(4) 選定結果

- ・社会福祉法人 日野市福祉事業団

(5) 指定期間

- ・平成24年4月1日から平成26年3月31日 まで

(6) 選定理由

- ・判断の目安である得点が評価点基準を満たしているため。
- ・障害者自立支援法に基づき障害者の日々の活動を支援する施設として、市と協調して事業を展開する必要のある当該施設の管理運営について十分な経験があることから、公の施設としてのサービスの提供が可能であると判断し、上記候補者を選定した。

(7) 協定締結にあたっての要望事項

- ・それぞれの事業の定員確保に関係各機関との連携と強い働きかけをしていただきたい。
- ・特に就労継続支援（B）事業については、新たな利用者の獲得に取り組んでいただきたい。
- ・魅力ある作業科目の開発にも取り組んでいただきたい。
- ・障害者の関わる施設として大震災を考慮した対応マニュアルの作成と訓練の実施を継続していただきたい。
- ・利用者一人ひとりに合ったサービスが十分に受けられるように配慮をしていただきたい。
- ・送迎運転委託業務は、特命随意契約で1社のみと契約しているが、一般競争入札が導入できないか検討していただきたい。

●日野市立やまばとについて

(1) 選定のポイント（採点表における重点項目）

- ・市民の平等な利用及びサービスの向上について
 - ①障害がある市民及びその家族が利用できる配慮はなされているか。
 - ②利用者の意見を反映する仕組みがあるか。
 - ③地域、関係機関、ボランティア等との連携が図られているか。
 - ④施設の特性を生かしたサービスが提案されているか。

(2) 応募団体名

- ・社会福祉法人 日野市福祉事業団

(3) 採点表

審査の結果、評価点基準（60％）を満たす、社会福祉法人 日野市福祉事業団（得点率70％）を指定管理者候補者として選定することになった。

(4) 選定結果

- ・社会福祉法人 日野市福祉事業団

(5) 指定期間

- ・平成24年4月1日から平成26年3月31日 まで

(6) 選定理由

- ・判断の目安である得点が評価点基準を満たしているため。
- ・障害者自立支援法に基づき障害者の日々の活動を支援する施設として、市と協調して事業を展開する必要のある当該施設の管理運営について十分な経験があることから、公の施設としてのサービスの提供が可能であると判断し、上記候補者を選定した。

(7) 協定締結にあたっての要望事項

- ・新たな利用者増のため、若年雇用の支援メニューの提供に取り組んでいただきたい。
- ・障害者の関わる施設として大震災を考慮した対応マニュアルの作成と訓練の実施を継続していただきたい。
- ・施設運営には、地域の自治会、ボランティア等と連携していただきたい。
- ・送迎運転委託業務は、特命随意契約で1社のみと契約しているが、一般競争入札が導入できないか検討していただきたい。

●日野市立はくちょうについて

(1) 選定のポイント（採点表における重点項目）

- ・市民の平等な利用及びサービスの向上について
- ①施設の特性を生かしたサービスが提案されているか。
 - ②地域、関係機関、ボランティア等との連携が図られているか。

(2) 応募団体名

- ・社会福祉法人 日野市福祉事業団

(3) 採点表

審査の結果、評価点基準（60％）を満たす、社会福祉法人 日野市福祉事業団（得点率68％）を指定管理者候補者として選定することになった。

(4) 選定結果

- ・社会福祉法人 日野市福祉事業団

(5) 指定期間

- ・平成24年4月1日から平成26年3月31日 まで

(6) 選定理由

- ・判断の目安である得点が評価点基準を満たしているため。
- ・障害者自立支援法に基づき、重度の知的障害者の日々の活動を支援する施設として、市と協調して事業を展開する必要のある当該施設の管理運営について十分な経験があること、施設の特長を生かした提案がされていること、地域、関係機関、ボランティア等との連携が図られていることから、公の施設としての

サービスの提供が可能であると判断し、上記候補者を選定した。

(7) 協定締結にあたっての要望事項

- ・利用率を上げる取り組みとあわせ、利用者一人ひとりの支援にも丁寧に対応していただきたい。
- ・重度障害者の利用施設であるので、大震災等も考慮して実施訓練も含めて対応していただきたい。
- ・公の施設としての障害者施設の役割でもあるセーフティネットを念頭において、民間施設からの障害者の受入れを継続していただきたい。
- ・公の施設であるため情報提供の拠点として、他の民間施設のネットワークに加わると共に情報提供をし、当該施設利用者、家族、関係機関、地域とあらゆる面で連携していただきたい。
- ・長期欠席者の対応を考慮していただきたい。
- ・送迎運転委託業務は、特命随意契約で1社のみと契約しているが、一般競争入札が導入できないか検討していただきたい。

●日野市立希望の家について

(1) 選定のポイント（採点表における重点項目）

- ・市民の平等な利用及びサービスの向上について
- ①障害者のある子供及びその家族が利用できる配慮はなされているか。
- ②施設の特性を生かしたサービスが提案されているか。
- ③地域、関係機関、ボランティア等との連携が図れているか。

(2) 応募団体名

- ・社会福祉法人 日野市福祉事業団

(3) 採点表

審査の結果、評価点基準（60％）を満す、社会福祉法人 日野市福祉事業団（得点率83％）を指定管理者候補者として選定することになった。

(4) 選定結果

- ・社会福祉法人 日野市福祉事業団

(5) 指定期間

- ・平成24年4月1日から平成26年3月31日 まで

(6) 選定理由

- ・判断の目安である得点が評価点基準を満たしているため。
- ・障害者自立支援法に基づく学齢前の発達に不安のある子ども及び障害のある子どもの育ちを支援する施設であるとして、また、保護者の子育てに対する不安を軽減する施設として市と協調して事業を展開する必要のある当該施設の管理

運営について十分な経験がある、また管理運営について、熱意・意欲、積極性が感じられることから、公の施設としてのサービスの提供が可能であると判断し、上記候補者を選定した。

(7) 協定締結にあたっての要望事項

- ・施設の利用者も多く、施設も老朽化しているので、安全対策には万全を期していただきたい。また、災害時には隣接する公共施設の職員と連携し、安全な施設へ避難誘導できる体制を整えていただきたい。
- ・災害時の対応以外で家庭（親の病気等）の緊急事態の受入体制が少しでも早く出来るようにしていただきたい。
- ・送迎運転委託業務は、特命随意契約で1社のみと契約しているが、一般競争入札が導入できないか検討していただきたい。

●日野市勤労・青年会館について

(1) 選定のポイント（採点表における重点項目）

- ・施設の効用発揮・管理に要する経費の縮減について

①事務効率、経費削減等の工夫がされているか。

②施設の利用率を向上させるための具体的な提案がなされているか。

- ・管理を安定して行う物的及び人的な能力について

①防災・防犯及び非常災害時等の危機管理対応策は適切であるか。

(2) 応募団体名

- ・株式会社 日野市企業公社

(3) 採点表

審査の結果、評価点基準（60%）を満す、株式会社 日野市企業公社（得点率73%）を指定管理者候補者として選定することになった。

(4) 選定結果

- ・株式会社 日野市企業公社

(5) 指定期間

- ・平成24年4月1日から平成29年3月31日 まで

(6) 選定理由

- ・判断の目安である得点が評価点基準を満たしているため。
- ・周辺に無料利用可能な他施設がある中で、毎年利用率が向上していること、高齢者、障害者などに対する案内、サービスの工夫がなされていること、また、防災・防犯への対応策も適切等、公の施設としてのサービスの提供が可能であると判断し、上記候補者を選定した。

(7) 協定締結にあたっての要望事項

- ・和室の特性を活かし、日本の文化を紹介するような特色ある講座を行い、若者や外国人等、新しい利用者増加に取り組んでいただきたい。また、受講者が自主的なサークル活動に発展するよう努めていただきたい。
- ・駅から近い利点をフルに活用していただきたい。
- ・震災時の帰宅困難者を受入れした施設である。震災等緊急対応については、担当課と緊急連絡体制の再確認と防災訓練の実施をしていただきたい。

●日野駅西駐輪場、豊田駅南第4駐輪場について

(1) 選定のポイント（採点表における重点項目）

- ・市民の平等な利用及びサービスの向上について
 - ①施設の特性を生かしたサービスが提案されているか。
 - ・公の施設の効用を最大限に発揮することについて
 - ①施設の目的を効果的かつ効率的に達成できるものになっているか。
 - ②施設の利用率を向上させるための具体的な提案がなされているか。

(2) 応募団体名

- ・株式会社 日野市企業公社

(3) 採点表

審査の結果、評価点基準（60%）を満す、株式会社 日野市企業公社（得点率66%）を指定管理者候補者として選定することになった。

(4) 選定結果

- ・株式会社 日野市企業公社

(5) 指定期間

- ・平成24年4月1日から平成29年3月31日 まで

(6) 選定理由

- ・判断の目安の得点も評価点基準を満たしている。
- ・本施設における市民の平等な利用、利用率向上及び利用者に対するサービスの向上のための方策があることから、公の施設としてのサービスの提供が可能であると判断し、上記候補者を選定した。

(7) 協定締結にあたっての要望事項

- ・豊田駅南第4駐輪場は100%利用を目指し取り組んでいただきたい。
- ・現場で受入れ／出しの担当しているシルバー人材センター担当者は施設定期利用のPR、声掛けをしていただきたい。
- ・レンタサイクル制度導入の実現に向けて努力していただきたい。
- ・市として、日野駅西駐輪場の利用率向上のため、近隣駐輪場の有料化の検討を進めていただきたい。

●日野市立交流センター（6施設）について

（1）選定のポイント（採点表における重点項目）

- ・市民の平等な利用及びサービスの向上について

①利用者の意見を反映する仕組みがあるか。

②利用者とのトラブル未然防止策及び対応策は適切か。

（2）応募団体名

- ・株式会社 日野市企業公社

（3）採点表

審査の結果、評価点基準（60%）を満す、株式会社 日野市企業公社（得点率65%）を指定管理者候補者として選定することになった。

（4）選定結果

- ・株式会社 日野市企業公社

（5）指定期間

- ・平成24年4月1日から平成29年3月31日 まで

（6）選定理由

- ・判断の目安である得点が評価点基準を満たしているため。
- ・各交流センターの現状認識の上、それぞれの特性を考慮した利用率向上の提案がされている。
- ・事業者の提案する運営方針等は、一部の市民が優遇されたり、不利となるような事業計画となっていないことから、公の施設としてのサービスの提供が可能であると判断し、上記候補者を選定した。

（7）協定締結にあたっての要望事項

- ・特に利用率の低い「東町交流センター」については、祭礼、盆踊りだけにとどまらず、映画会などを企画して、地域の住民との交流の場としていただきたい。
- ・平山交流センターについては、公民館と連携し自主事業を行い、利用率向上を図っていただきたい。
- ・市からの管理基準仕様書では、使用状況（件数・人数等）の報告書の提出については、年2回（6ヶ月に1度）としているが、毎月報告し、細かくフォローしていただきたい。
- ・安定した市民サービスの提供をするために計画的な職員研修（接遇及び普通救命講習受講等）を自社社員のみならず委託先に対しても実施していただきたい。

●日野市東部会館について

（1）選定のポイント（採点表における重点項目）

	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の平等な利用及びサービスの向上について ①利用者の意見を反映する仕組みがあるか。 ・事業計画に沿った管理を安定して行うについて ②日常的な安全管理が十分に考えられているか。 <p>(2) 応募団体名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社 日野市企業公社 <p>(3) 採点表</p> <p>審査の結果、評価点基準（60%）を満す、株式会社 日野市企業公社（得点率71%）を指定管理者候補者として選定することになった。</p> <p>(4) 選定結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社 日野市企業公社 <p>(5) 指定期間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年4月1日から平成27年3月31日 まで <p>(6) 選定理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・判断の目安である得点が評価点基準を満たしているため。 ・事業計画書等の内容から、市民の平等な利用が確保されている。 ・本施設の管理運営について、十分な経験があり、施設の特性を活かし安定した公共サービスの提供が可能であると判断し、上記候補者を選定した。 <p>(7) 協定締結にあたっての要望事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会館の利用者増、利用率向上については、集会室とプールそれぞれに対する創意工夫した計画と実行に取り組んでいただきたい。 ・プール運営については、委託業者に一任せず、緊急時の対応をすみやかに行っていただきたい。 ・夜間でのトラブル対応について、指定管理者内の緊急対応体制を確立していただきたい。 ・温水プールを持つ日野で唯一のコミュニティ施設なので、市民全体に対してのPRに努めていただきたい。 ・和室、料理実習室の利用率を向上させる方策に取り組んでいただきたい。 <p>●日野市立万願寺交流センターについて</p> <p>(1) 選定のポイント（採点表における重点項目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の平等な利用及びサービスの向上について ①利用者の意見を反映する仕組みがあるか。 ・事業計画に沿った管理を安定して行うについて ①利用者とのトラブル未然防止策及び対応策は適切か。
--	--

(2) 応募団体名

- ・NPO 法人 日野子育てパートナーの会

(3) 採点表

審査の結果、評価点基準（60%）を満す、NPO 法人 日野子育てパートナーの会（得点率80%）を指定管理者候補者として選定することになった。

(4) 選定結果

- ・NPO 法人 日野子育てパートナーの会

(5) 指定期間

- ・平成 24 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日 まで

(6) 選定理由

- ・判断の目安である得点が評価点基準を満たしているため。
- ・事業計画書等の内容から、利用者の意見を反映する仕組みや施設の特性を生かしたサービスが提案されていること。また、管理運営について、熱意・意欲、積極性が感じられることから、公の施設としてのサービスの提供が可能であると判断し、上記候補者を選定した。

(7) 協定締結にあたっての要望事項

- ・交流センターですので、子育て専用の施設という先入観を与えないよう、世代を越えた地域の交流の場として、地域の特性を活かした人材を活用できるような取り組みもしていただきたい。

●日野市立多摩平交流センターについて

(1) 選定のポイント（採点表における重点項目）

- ・市民の平等な利用及びサービスの向上について

①利用者の意見を反映する仕組みがあるか。

- ・事業計画に沿った管理を安定して行うについて

①利用者とのトラブル未然防止策及び対応策は適切か。

(2) 応募団体名

- ・NPO 法人 市民サポートセンター日野

(3) 採点表

審査の結果、評価点基準（60%）を満す、NPO 法人 市民サポートセンター日野（得点率78%）を指定管理者候補者として選定することになった。

(4) 選定結果

- ・NPO 法人 市民サポートセンター日野

(5) 指定期間

- ・平成 24 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日 まで

<p>議題 3</p>	<p>(6) 選定理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・判断の目安である得点が評価点基準を満たしているため。 ・事業計画書等の内容から、施設の特性を活かしたサービスの提案がなされていた。また、管理運営について、熱意・意欲、積極性が感じられることから、公の施設としてのサービスの提供が可能であると判断し、上記候補者を選定した。 <p>(7) 協定締結にあたっての要望事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用率の非常に高い施設であり、公平な受付業務を継続していただきたい。 ・利用者増、利用率増には、調理室の使い勝手改善が重要なため、利用者の要望も考慮して担当課と改善に取り組んでいただきたい。 <p>●その他</p> <p>事務局（企画調整課長）より説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 審議報告書の市長提出日について <p>11月8日（火）15：15～ 本庁舎402応接室となった。</p> <p>～第9回日野市指定管理者候補者選定委員会終了～</p>
-------------	---